

心に残る文化財子ども塾 出雲市立荒木小学校

1. 活動の概要

令和2年7月3日（金）、出雲市立荒木小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。はじめに、プリントを使って荒木小学校の周りの地域の歴史や遺跡について学習しました。奈良時代の土器や、古墳時代の勾玉の実物を実際に見ることで、古代の出雲についてイメージを膨らませていきました。

次に、勾玉作り体験を行いました。石に自分の好きな形を書いて、理想の形になるよう一生懸命削りました。仕上げに水をつけて磨いて、全員つやつやの勾玉を作ることができました。

2. 活動の様子



荒木小の周りにはいろんな遺跡があります



理想の形を目指して削ります



耐水ペーパーで仕上げ磨き

3. 活動を終えて

① 児童の皆さんから

- ・ 最後に勾玉を水でぬらしたら色が変化したところが心に残った。
- ・ なぜ神西湖ができたか知りたい。
- ・ 大昔の出雲や島根のことを教えてもらって、近くに川のようなものがあったなどびっくりすることがたくさんありました。
- ・ 難しい形の勾玉をつくってみたり、歴博に行きたい。
- ・ 古墳に行ってみたいです。
- ・ 出雲の歴史や、遺跡が全部で何個くらいあるのか知りたい。
- ・ 風土記が出雲しか全部残っていないと聞いてびっくりした。
- ・ 勾玉を作るのに時間や手間がかると知った。

② 担任の先生から

- ・ 出雲の歴史や出土品などの話が聞け、子ども達も地元出雲の歴史に興味を持っていた。

- ・ 社会科の進度とほぼ同様だったため児童の意欲が高かった。提示資料により出雲地方の地理等がよくわかった。映像資料があるとさらに興味が深まったかもしれない。

③ 古代出雲歴史博物館から

学校の周辺の歴史や遺跡を絵図・地図を使って紹介し、古代出雲の特色である出雲国風土記や勾玉がどんなものなのか、興味や関心を持ってもらえるよう説明しました。勾玉作りは時間がかかりますが、作品として手元に残り、児童さんは一生懸命作業した達成感を味わうことができたと思います。今後は、ご指摘のようにパワーポイント等を使った、よりわかりやすい説明を心掛けたいと思います。